INK TANK, HOLDER, INK JET CARTRIDGE AND CAP

Patent number:

JP10286972

Publication date:

1998-10-27

Inventor:

NOZAWA MINORU; TSUKUDA KEIICHIRO

Applicant:

CANON INC

Classification:

- international:

B41J2/175

- european:

Application number:

JP19970111457 19970428

Priority number(s):

Also published as:

EP0829363 (A2) US6102533 (A1) JP10286972 (A)

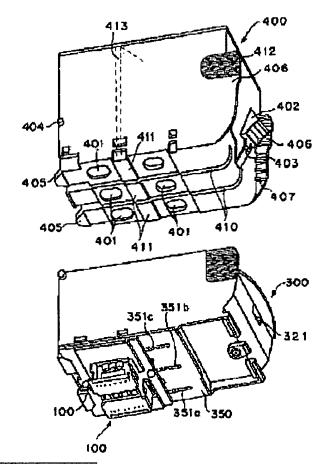
EP0829363 (A3) EP0829363 (B1)

more >>

Abstract of **JP10286972**

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent mixing of ink colors due to leakage of ink from a supplying hole which may occur when an ink tank for housing multiple kinds of inks in respective housing chambers is loaded or unloaded to or from a device.

SOLUTION: Grooves 410 each having a predetermined depth are provided between each adjacent ink supplying holes 401 for inks of yellow (Y), magenta (M) and cyan (C) in an ink tank 400 so that the supplying holes 401 are separated by the grooves 410. As a result, it is possible to prevent mixing of inks having different colors even when the ink leaks from one of the ink supplying holes 401.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出廣公開番号

特開平10-286972

(43)公開日 平成10年(1998)10月27日

(51) Int.CL⁶

酸別配号

FΙ

B41J 2/175

B41J 3/04

102Z

審査請求 未請求 請求項の数19 OL (全 13 頁)

(21)出魔番号

特願平9-111457

(22)出魔日

平成9年(1997) 4月28日

(31) 優先権主張番号 特願平8-229518

(32)優先日

平8 (1996) 8月30日

(33)優先権主張国

日本 (JP)

(31) 優先権主張番号 特顧平8-230449

(32) 優先日

平8 (1996) 8月30日

(33)優先権主張国 (31) 優先権主張番号 特願平9-29492

日本(JP)

(32) 優先日

平9 (1997) 2月14日

(33)優先権主張国

日本 (JP)

(71)出顧人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 野澤 実

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ

ノン株式会社内

(72)発明者 佃 圭一郎

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ

ノン株式会社内

(74)代理人 弁理士 谷 義一 (外1名)

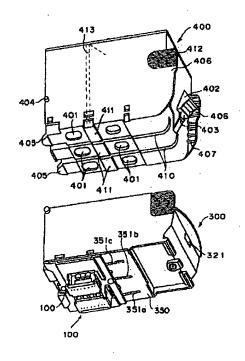
最終質に続く

(54) 【発明の名称】 インクタンク、ホルダー、インクジェットカートリッジおよびキャップ

(57)【要約】

【課題】 多種類のインクを各別の収納室毎に収納する インクタンクの装置における着脱動作時に供給口からの インク漏れに起因した混色を防止する。

【解決手段】 インクタンク400において、イエロー (Y), マゼンタ(M) およびシアン(C) のインクそ れぞれのインク供給口401の間に所定の深さの溝41 0が設けられ、この溝410によって各色インク毎の供 給□401が隔てられる。これにより、仮にいずれかの インク供給口401からインク漏れがあったとしても少 なくとも異なる色間でインクが混合されることを防止で きる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インクジェットヘッドを備えたホルダー に対して着脱自在であり、該ホルダーに対する挿入方向 前部に係合部および前記挿入方向後部にラッチレバーを 有するインクタンクであって、

前記インクタンクはそれぞれ前記係合部および前記ラッ チレバーを有する部位と隣接する面に複数のインク供給 口を有し、該複数のインク供給口のうち少なくとも一組 の間には前記挿入方向と平行な溝が設けられていること を特徴とするインクタンク。

【請求項2】 前記溝の2つで区切られた領域内に同系 色のインクを供給するインク供給口が複数設けられてい ることを特徴とする請求項1に記載のインクタンク。

【請求項3】 前記同系色のインク供給口のうち、より 濃度の高いインクを供給するインク供給口が前記係合部 側に設けられることを特徴とする請求項2に記載のイン クタンク。

【請求項4】 前記溝はその深さ方向において当該溝幅 が狭くなるよう形成され、該溝幅に応じて当該インクタ ンク内部に収納されるインク吸収体が圧縮されることを 20 れているインクタンクと、 特徴とする請求項1ないし3のいずれかに記載のインク

【請求項5】 前記ラッチレバーの変位により該ラッチ レバーを収納できる保護壁をさらに有したことを特徴と する請求項1ないし4のいずれかに記載のインクタン

【請求項6】 インクジェットヘッドを備え、インクタ ンクを着脱自在に保持するホルダーであって、

前記インクタンクは、ホルダーに対する挿入方向前部に インクタンクであって、

前記インクタンクはそれぞれ前記係合部および前記ラッ チレバーを有する部位と隣接する面に複数のインク供給 口を有し、該複数のインク供給口のうち少なくとも一組 の間には前記挿入方向と平行な溝が設けられていること を特徴とするホルダー。

【請求項7】 前記ホルダーは、その側面内側にガイド 部材が設けられ前記インクタンクの側面の突起を該ガイ 下部材に沿って案内し、前記係合部を支点として当該イ ンクタンクを回動してホルダーに装着することを特徴と 40 する請求項6に記載のホルダー。

【請求項8】 前記インクタンクと前記ホルダー内のイ ンクジェットヘッドとを接続する接合部およびインクタ シク装着時の前記支点間の距離が、装着力作用点と支点 との距離の半分以下であることを特徴とする請求項7に 記載のホルダー。

【請求項9】 前記接合部に、接合方向の断面形状の一 部がラッパ形状である弾性部材を設けたことを特徴とす る請求項7または8に記載のホルダー。

成する流路形成部材が設けられたことを特徴とする請求 項7ないし9のいずれか記載のホルダー。

【請求項11】 前記流路形成部材の一部が透明部材で 形成されていることを特徴とする請求項10に記載のホ ルダー

【請求項12】 前記ホルダーの内側に設けられる前記 ガイド部材は、前記ホルダーの上縁から下向きに傾斜し た傾斜ガイドレール部と、傾斜ガイドレール部の下端か らほぼ水平に延びる水平ガイドレール部と、水平ガイド 10 レール部の他端に形成された窪み部とを有するガイドレ ールで構成されたことを特徴とする請求項7ないし11 のいずれかに記載のホルダー。

【請求項13】 インクジェットヘッドを備えたホルダ ーに対して着脱自在であり、該ホルダーに対する挿入方 向前部に係合部および前記挿入方向後部にラッチレバー を有するインクタンクであって、それぞれ前配係合部お よび前記ラッチレバーを有する部位と隣接する面に複数 のインク供給□を有し、該複数のインク供給□のうち少 なくとも一組の間には前記挿入方向と平行な溝が設けら

前記インクジェットヘッドを備えたホルダーと、 を有したことを特徴とするインクジェットカートリッ シ。

【請求項14】 インクジェットヘッドを備えたホルダ ーに対して着脱自在であり、該ホルダーに対する挿入方 向前部に係合部および前記挿入方向後部にラッチレバー を有するインクタンクであって、それぞれ前記係合部お よび前記ラッチレバーを有する部位と隣接する面に複数 **のインク供給□を有し、該複数のインク供給□のうち少** 係合部および前記挿入方向後部にラッチレバーを有する 30 なくとも一組の間には前記挿入方向と平行な溝が設けら れているインクタンクに着脱自在に取付けられることを 特徴とするキャップ。

> 【請求項15】 前記キャップは、前記インクタンクに おけるインク供給口のシール部分に弾性体シール部材を 用いると共に、該弾性体シール部材の高さより高く、か つ該弾性体シール部分の長さより長い形状の突起を設け たことを特徴とする請求項14に記載のキャップ。

【請求項16】 前記キャップは前記複数の弾性体シー ル部材の間に突起を有し、該突起が前記インクタンクの 溝に入り込むことで前記複数のインク供給口が前記突起 により仕切られることを特徴とする請求項15に記載の キャップ。

【請求項17】 インクジェットヘッドを備えたホルダ ーに対して着脱自在であり、該ホルダーに対する挿入方 向前部に係合部および前記挿入方向後部にラッチレバー を有し、前記係合部を支点とした回動動作によりホルダ ーに装着されるインクタンクであって、

前記インクタンクは同系統のインクを供給するためのイ ンク供給口を複数有し、より濃度の高いインクを供給す 【請求項10】 前記ホルダーの底部にインク流路を形 50 るインク供給口が前記係合部側に設けられていることを 特徴とするインクタンク。

【請求項18】 前記濃度の高いインク供給口と他の供 給口との間に前記浪度の高いインク供給口の径より長い 長さ成分を有する突起を設けたことを特徴とする請求項 17に記載のインクタンク。

【請求項19】 インクジェットヘッドを備え、インク タンクを着脱自在に保持するホルダーであって、

前記インクタンクは、前記ホルダーに対する挿入方向前 部に係合部および前記挿入方向後部にラッチレバーを有 装着されるインクタンクであって、

前記インクタンクは同系統のインクを供給するためのイ ンク供給口を複数有し、より濃度の高いインクを供給す るインク供給口が前記係合部側に設けられていることを 特徴とするホルダー。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、インクジェット記 録装置に用いられるインクジェットヘッドに供給するイ ンクをそれぞれ別個に貯留する室を一体に形成し装置に 対し交換可能なインクタンクおよびこれを交換可能に保 持するホルダーに関するものである。

[0002]

【従来の技術】従来、紙、布、ブラスチックシート、O HP用シート等の記録媒体(以下、単に「記録紙」とも いう)に対して記録を行う記録装置は、種々の記録方 式、例えばワイヤードット方式、感熱方式、熱転写方 式、インクジェット方式による記録ヘッドを搭載可能な 形態として提案されている。

【0003】特に、インクジェット記録装置は、情報処 理システムの出力手段、例えば複写機、ファクシミリ、 電子タイプライタ、ワードプロセッサ、ワークステーシ ョン等の出力端末としてのプリンタ、あるいはパーソナ ルコンピュータ、ホストコンピュータ、光ディスク装 置、ビデオ装置等に具備されるハンディまたはポータブ ルプリンタとして利用され、かつ商品化されている。

【0004】とのようなインクジェット記録装置で用い られる記録ヘッドからインクを吐出する方式は、そのた どの電気機械変換体を用いたもの、レーザなどの電磁波 を照射して発熱させ、この発熱による作用でインク滴を 吐出させるもの、あるいは発熱抵抗体を有する電気熱変 換索子によって液体を加熱させるもの等が知られてい る。また、配録ヘッドヘインクを供給するためのインク タンクは、インク吸収体と、このインク吸収体を収納す る容器と、これを封止する蓋部材とで概略構成されるの が一般的である。

【0005】 これら記録ヘッドおよびインクタンクは、 それらが相互に固定されて一体化されたタイプのもの

と、記録ヘッドとインクタンクとが相互に着脱可能なも のとが知られている。いずれのタイプにおいても記録へ ッドとインクタンク相互の位置決めは重要であり、ま た、これらの部材がインクジェット記録装置のキャリッ ジ等に装着される際の位置決めも印字品位に係わる重要 な事項である。

【0006】上述した相互に着脱可能な記録ヘッドおよ びインクタンクをそれぞれキャリッジに装着する場合あ るいは一体型のいわゆるヘッドカートリッジをキャリッ し、前記係合部を支点とした回動動作によりホルダーに 10 ジに装着する場合の位置決めのための着脱機構として、 比較的小型のインクジェット記録装置においてより少な いスペースでの着脱を可能とするため、レバー等の操作 によりインクタンク等あるいはヘッドカートリッジを複 数の方向に移動させて装着する機構が知られている。 【0007】しかしながら、上述のような複数の方向に 移動させてインクタンクやヘッドカートリッジを着脱す る従来の構造は、キャリッジ自体に複雑な構造を必要と する。そのため、その構成を設けた分だけ装置の大型化 を招き、小型のプリンタを提供することができない場合 ンクを貯留したインクタンクに関し、特に、複数色のイ 20 があり、また、着脱操作が比較的複雑なものとなるおそ れがある。従って、このような着脱機構を用いる場合に おいて、装置の一層の小型化を達成し、より簡単な操作 あるいは、より簡単な機構で、着脱時の不都合がなく、 しかも位置決め精度を低下させることのない構成を得る ことは重要である。

【0008】例えば、特開平8-58107号、特開平 8-224883号、特開平8-276601号では、 上記目的を達成するために、内部に収容した記録用のイ ンクを外部に供給するための供給口を有するとともに、 30 箱状のインクタンクホルダーの開口に挿入されて着脱自 在に保持され、インクタンクホルダーに装着されること で、供給口がインクタンクホルダーのインク取り込み手 段と連通するインクタンクにおいて、インクタンクホル ダーに装着される際に、インクタンクホルダーの開口の 底壁と対向する底面と、この底面に隣接する一端面とが 交わる稜部に傾斜面が形成され、該一端面に、インクタ ンクホルダーに形成された抜け止め孔に嵌合する爪状突 起が設けられるとともに、他端面に、インクタンクホル ダーに形成された係合孔に結合するラッチ爪が設けられ めのエネルギーを発生する方式に応じて、ピエソ素子な 40 たラッチレバーが弾性的に支持されて設けられていると とを特徴とする発明を提案している。

[0009]

【発明が解決しようとする課題】ところで、近年のイン クジェットヘッドにおいては、上述したように、小型化 へと向かうものと、低ランニングコストを目指し、大容 量インクタンクへと向かうもの、又は、写真並の画質を 得るための濃淡インク(例えば濃イエロー、濃マゼン タ、濃シアン、淡イエロー、淡マゼンタ、淡シアン) を 使用するもの等、多極化の傾向にある。特に、大容量の 50 インクタンクや渡淡インク用のインクタンクは、これま

でのインクタンクよりも重量が大になることや、インク タンクとホルダー部材のインク吐出ヘッド部との接合部 (ジョイント部)の数(インクタンクのインク供給□の 数と同じ)が多くなる。そこで、本発明者らは将来的展 望の見地から、上述のインクタンクおよびホルダーに対 し鋭意検討を重ねた結果、特に以下に示す点が特に重要 な課題となることを認識するに至った。

【0010】1)インクタンク内部に収容されるインク の量も増すことからそのインクの重量による圧力が供給 口部分に作用する圧力も小型のものに比べ大きくなり、 このため、着脱動作時の各色インクの供給口からのイン ク漏れによる混色の防止を十分考慮する必要がある。

【0011】2)インクタンクの装着の際の固定動作を スムーズに行い、かつ多くの供給口とヘッド側の結合部 を確実に結合することが望ましい。

【0012】3)万一インクタンクが落下した場合その 衝撃は比較的大きなものとなるため、この衝撃からラッ チ爪を保護する必要もある。

【0013】4)インクタンクがその流通過程における できるインクタンクを提供し、また、流通過程において インクの漏れを確実に防止し得る最適な供給口のシール 手段を提供することも必要となる。

【0014】また、上記の課題に加えあるいは単独で、 **濃淡インク等の同系統のインクが入ったインクタンクを** 用いる場合において濃インクと淡インクに対する混色を 考慮する必要があり、また、これまでのウレタンスポン ジ等をインク保持体として用いる場合、インクタンクが 不透明であるためにインク切れの確認が行えず、プリン タ等の使用者に不安感を与える場合があった。

【0015】さらに、上述した流通過程で用いるシール 手段に関して詳細に説明すると、このシール手段として 粘着剤を用いたり、熱溶着することにより、フィルム状 のものをインク容器のインク供給口に貼り付ける方法 や、樹脂等により成形されたモールド部材に、インク容 器のインク供給口をシールするための弾性体を設けて形 成されるキャップを装着する方法等が知られている。

【0016】しかしながら、粘着剤を用いることにより フィルムをインク容器に貼り付ける方法は、粘着剤の耐 ク容器に使用されている樹脂とフィルム樹脂との溶融性 等により使用可能な材料が限定されてしまうという問題 がある。また、フィルム状のシール材においては、ユー ザがフィルムをそのインク容器から剥した場合、まれに であってもフィルムに付着したインクが飛び散る可能性 もある。

【0017】また、インク容器シール用キャップの場 合、弾性体で形成されたシールに付着したインクがユー ザの手などを汚すことが考えられる。従って、このキャ ップを用いる場合はユーザがシール面に触れにくい構造 50 ち少なくとも一組の間には前記挿入方向と平行な溝が設

にする必要がある。また、当然この種のキャップは、流 通の過程において簡単に外れないようにすることも必要 である.

【0018】加えて、この種のキャップ(以下、物流キ ャップともいう) においては、前述したように、複数色 のインクを各収納室毎に保持するようなインクタンク や、被記録媒体上のインクの耐水性等を向上させるため インクに使用されている染料分子を凝集させるための液 体を通常使用されるインクと同一のタンクにおいて保持 10 する場合、インクタンクの流通過程で異種インク同士等 が混ざることはインク色変化の原因となり、また、特に 染料分子を凝集させる液が通常のインクと混合すると、 その場でインクが固着してしまい、インクが供給不良を 起とす怖れがあるため、とのようなインクの混合を防止 する必要がある。

【0019】本発明の目的は、上述の課題を解決するた めになされたものであり、その目的とするところは、イ ンクタンクのインクジェット記録装置における着脱時お よび流通過程においてインク漏れによる混色等を良好に 種々の姿勢変化を経た後でも安定したインク供給を実現 20 防止できるインクタンクおよび物流キャップを提供する ことにある。また、インクタンクの装着をスムースかつ 確実に行うことができるインクタンクおよびインクタン クホルダーもしくは該ホルダーを一体に備えたインクジ ェットカートリッジを提供することにある。

[0020]

【課題を解決するための手段】そのために本発明では、 インクジェットヘッドを備えたホルダーに対して着脱自 在であり、該ホルダーに対する挿入方向前部に係合部お よび前記挿入方向後部にラッチレバーを有するインクタ 30 ンクであって、前記インクタンクはそれぞれ前記係合部 および前記ラッチレバーを有する部位と隣接する面に複 数のインク供給口を有し、該複数のインク供給口のうち 少なくとも一組の間には前記挿入方向と平行な溝が設け られていることを特徴とする。

【0021】また、インクジェットヘッドを備え、イン クタンクを着脱自在に保持するホルダーであって、前記 インクタンクは、ホルダーに対する挿入方向前部に係合 部および前記挿入方向後部にラッチレバーを有するイン クタンクであって、前記インクタンクはそれぞれ前記係 インク性が問題となり、また、熱溶著する場合は、イン 40 合部および前記ラッチレバーを有する部位と隣接する面 に複数のインク供給口を有し、該複数のインク供給口の うち少なくとも一組の間には前記挿入方向と平行な溝が 設けられていることを特徴とする。

> 【0022】さらに、インクジェットヘッドを備えたホ ルダーに対して着脱自在であり、該ホルダーに対する挿 入方向前部に係合部および前記挿入方向後部にラッチレ バーを有するインクタンクであって、それぞれ前記係合 部および前記ラッチレバーを有する部位と隣接する面に 複数のインク供給口を有し、該複数のインク供給口のう

けられているインクタンクと、前記インクジェットへっ ドを備えたホルダーと、を有したことを特徴とする。 【0023】さらに、インクジェットへッドを備えたホ ルダーに対して着脱自在であり、該ホルダーに対する挿 入方向前部に係合部および前記挿入方向後部にラッチレ バーを有するインクタンクであって、それぞれ前配係合 部および前記ラッチレバーを有する部位と隣接する面に

複数のインク供給口を有し、該複数のインク供給口のう ち少なくとも一組の間には前記挿入方向と平行な溝が設 とを特徴とする。

【0024】さらに、インクジェットヘッドを備えたホ ルダーに対して着脱自在であり、該ホルダーに対する挿 入方向前部に係合部および前記挿入方向後部にラッチレ バーを有し、前記係合部を支点とした回動動作によりホ ルダーに装着されるインクタンクであって、前記インク タンクは同系統のインクを供給するためのインク供給口 を複数有し、より濃度の高いインクを供給するインク供 給口が前記係合部側に設けられていることを特徴とす

【0025】さらに、インクジェットヘッドを備え、イ ンクタンクを着脱自在に保持するホルダーであって、前 記インクタンクは、前記ホルダーに対する挿入方向前部 に係合部および前記挿入方向後部にラッチレバーを有 し、前記係合部を支点とした回動動作によりホルダーに 装着されるインクタンクであって、前記インクタンクは 同系統のインクを供給するためのインク供給口を複数有 し、より濃度の高いインクを供給するインク供給口が前 記係合部側に設けられていることを特徴とする。

【0026】以上の構成によれば、インクタンクの複数 30 のインク供給口が配設された面において、そのインクタ ンクの着脱動作の方向に平行な方向に沿って溝が形成さ れるので、この溝によって隔てられるインク供給口が異 なる色のインクを供給するものであるときはこの溝によ り、仮に一方の供給口からインクが漏れた場合でもその インクが流れて他方のインク供給口に達することを防止 できる。

[0027]

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実 施形態を詳細に説明する。

【0028】図1は本発明の一実施形態に係るインクタ ンク400およびこのタンクをキャリッジ上において保 持するホルダー300を示す斜視図であり、インクタン ク400についてはインク供給口から視た図である。ま た、図2はホルダー300を一部破断して示す斜視図で あり、特にインクタンク400との接続部を示す図であ

【0029】ホルダー300は、後述されるようにイン クジェットヘッド100を一体に備え、また、インクジ

れるものである。図1および図2に示されるように、と のホルダー300は、上面が開放されたほぼ箱形を成し ており、また、この箱形の一方の端面の上半分が切り欠 かれその切欠き部分からフランジ部302が突出するよ うに形成されている。さらに、上記一端面に対向する端 面はその上半分が屈曲部340として外方に傾斜して延 在する。また、ホルダー300は、その底部に周囲が弾 性部材304によって取り囲まれ先端にフィルター33 2が設けられた煙突状の供給管330が6個設けられ、 けられているインクタンクに着脱自在に取付けられると 10 これにより、インクタンク400がホルダー300に装 着されることによってインクタンク400の6種類のイ ンクをぞれぞれインクジェットヘッド100に供給する ことができる。すなわち、ホルダー300の供給管33 0はそのフィルター部分332をインクタンク400の インク供給口401に設けられたインク吸収体に当接 し、また、このとき、弾性部材304はインク供給口4 01の周囲および供給管330の周囲をシールする。と れにより、インクの蒸発および漏れを防止しつつ良好な インク供給を行うことができる。弾性部材304は、上 20 記シールのため十分な弾性力を作用できるよう例えば接 合方向の断面形状の一部がラッパ形状または末広がりの 形状となるよう形成することができる。また、ホルダー 300の底部には、インクタンク400を装着する際に その底面に形成された溝410と係合するリブ335が 設けられる。これにより、ホルダー300の強度を増す ことができるとともにタンク400の装着動作のガイド 部材をなすこともできる。

> 【0030】さらに、ホルダー300の箱形形状の2つ の側面をなすそれぞれの壁の内側には、インクタンク4 00の装着および脱着時にインクタンク400の動きを 規制すると共に、その円滑な動きを可能とするガイドレ ール状の第1のガイド部310が互いに対向して設けら れている。このガイド部310は、上記壁の上縁から下 向きに傾斜した傾斜ガイドレール部310a、ほぼ水平 に延在する水平ガイドレール部3 10 b およびホルダー 300の屈曲部340に接するように設けられた窪み部 310とから形成されている。

【0031】また、ホルダー300の屈曲部340が設 けられる端部のほぼ最下部 (底面の近傍) には、インク 40 タンク400に設けられた3個の爪状の突起405が係 合する抜け止め孔320が対応して3個設けられてい る。さらに、ホルダー300の底面の裏側の面には、そ れぞれ対応する供給管330からインクジェットヘッド 100にインクを導くための流路351a, 351b, 351cが形成された流路形成部材350が設けられて いる(図1参照)。この流路形成部材350は透明な材 料で形成されるのが好ましく、これにより、流路形成部 材350の内部に形成された流路351a, 351b. 351cを介してインクジェットヘッド100に導かれ ェット記録装置のキャリッジにおいて着脱自在に装着さ 50 るインクやインクに混入した泡等のインクの状態を目視

して、インクタンク400内のインク切れを泡の混入で 確認することができる。本実施形態では、6色のインク の内の3色のインクの流路351a, 351b, 351 cが目視できる構成であるが、必ずしも全色のインクを 目視できる必要はなく、一番使用頻度の高い例えばイエ ロー(黄色)のインクを目視できることで、ブリンタ等 の使用者の不安感を軽減することができる。

【0032】また、ホルダー300のフランジ部302 の下には、インクタンク400のラッチレバー402の ラッチ爪403が係合される係合孔321が設けられて 10 なる。 いる。このフランジ部302のガイド部312はインク タンク400の装着、脱着時にインクタンク400の底 面が当接してその動きを案内するよう第2のガイド部を なすものである。

【0033】インクジェットヘッド100は、図1に示 すように、ホルダー300においてインクタンク400 の収納部底面の裏側の面に取付けられるものであり、ホ ルダー300が後述するインクジェット記録装置のキャ リッジ上に装着されることにより、キャリッジにおいて 所定位置に位置決めされることになる。

【0034】本実施形態では、イエロー(Y), マゼン タ(M), シアン(C)の各インクについて濃, 淡2種 類のインクを用いる。そのため、Y、M、Cのそれぞれ 濃インクを吐出するインクジェットヘッド100および Y, M. Cの淡インクをそれぞれ吐出するインクジェッ トヘッド100が設けられる。すなわち、それぞれのイ ンクジェットヘッドにおいて、Y、M、Cの濃または淡 のインク毎に所定数からなる吐出口群が設けられてお り、これに応じて各ヘッド内部では各インク毎の液路お する液路には、インク吐出に利用される熱エネルギーを 発生する電気熱変換素子が形成され、また、各インク毎 の液室にはホルダーの供給管330もしくは液路351 a~351cを介してそれぞれ対応する種類のインクが 供給される。

【0035】インクタンク400は、上述した6種類の インクをそれぞれ所定の部材で区切られた別個の収納室 において保持するものであり、各収納室にはその大部分 を占めるように多孔質のインク吸収体が格納されこのイ ンク吸収体が毛管力によってインクを保持する。そし て、各収納室の底部には供給口401が設けられ、イン ク吸収体に保持されたインクはこの供給口401を介し てインクジェットヘッド側へ供給される。すなわち、各 インク供給口401には、図5にて後述するように、雄 維状のインク吸収体が設けられ、この吸収体の毛管力が 収納室内のインクを保持する吸収体の毛管力より大きく 設定されており、これにより、良好なインク供給が可能 となる。

【0036】ここで本実施形態におけるインク供給口4 01の配置は次のようにして定められている。

【0037】各種類のインク毎に設けられるインク供給 口401の配設位置は、インク供給口401からインク が漏れた場合にそれによるインクタンク自身の汚れを最 小限とすることおよび混色の防止もしくは混色による影 響を最小限とすることを主に考慮して定められる。すな わち、インクタンク400の装着や脱着の際、ユーザー はインクタンク400の把持部412を把持して扱うこ とになるが、この場合、インクタンク400の姿勢にお いてその底面の端部に設けられる突起405が最下部と

【0038】この場合、インク漏れによるインクタンク 自身の汚れを最小限とするには、インク供給口401 が、把持部412よりも突起405により近い位置に配。 置されることが望ましい。これにより、漏れたインクに よって汚される部位をより少なくすることができるから、 である。

【0039】次にY、M、C各インク相互の混色を防止 するには、ユーザーがインクタンク400を把持したと きのインクタンクの姿勢において、漏れたインクが流れ 20 る方向に他の色のインクの供給口が存在していないこと が必要となる。このため、本実施形態では、濃、淡イン クそれぞれについて、上記姿勢で漏れたインクの流れる 方向である、例えば溝410が延在する方向と、直交す る方向にY.M.Cの各インクのインク供給口を配列す るようにする。

【0040】さらに、各インク色の濃、淡インクそれぞ れの供給口401相互の配置は、仮に、一方のインクが 他方の供給口に入り込んで混色した場合にも、その影響 が最小限となるよう、上記姿勢におけるインクの流れに よび液室等が形成されている。そして、各吐出口に対応 30 おいて上流側に淡インクのインク供給口を配置する。上 記混色によって仮に濃インクが記録に用いられる場合で も、淡インクの場合がその濃度にそれ程の影響を与えな いからである。

> 【0041】上述したインク供給日401の配置の場合 において、本実施形態では、インクタンク400の湯、 淡各インクの保持量について、それらの消費量等の観点 から濃インクより淡インクの保持量を多くしている。よ り具体的には、図1に示すように、インクタンク内部に おいて各色インクは仕切り壁413によってそれぞれの 40 濃、淡インクの各収納室が区画され、同図中、左側に濃 インクが収納され、右側に淡インクが収納される。これ により、各濃、淡インクの供給口401をそれぞれ対応 する収納室の底部に設けることができ、インク供給口に 関する構造をより簡易なものとすることができる。すな わち、上述したインク供給口配置の条件に従う場合で も、例えば収納室とインク供給口401とを連続するイ ンク流路等の特別の構成を設けなくても、直接インク収 納室の底部に供給口を設けることができ、これによりイ ンク供給口に関する構造を簡易なものとすることが可能 50 となる。

【0042】また、淡インクのインク供給口401の場 合、その収納室の底面が広く設けられるため、上述した 供給口配置条件に応じて突起405側により近く配置す るための自由度も大きくなる。

【0043】本実施形態では、混色防止等の観点から、 上記インク供給口の配置を適切に定めることに加え、各 色の濃、淡各インクの供給口間にこれら供給口の径より 長い長さ成分を有する突起411を設ける。また、各イ ンク色のインク供給口間には溝410を設ける。これ ら、凸部および溝により、仮りにインクが漏れたとして 10 が加わることを防止することが可能となる。 も、そのインクが他の供給口に到達する前に、そのイン ク流れを阻止するかもしくは方向を変えることができ

【0044】インクタンク400の把持部412が設け られた部位の下方には、ホルダー300に装着された際 にインクタンク自身を固定錠止するためにラッチレバー 402が設けられている。このレバー402はその一端 部がタンク400の外壁部と一体に形成されて、との端 部を支点としたレバー自身の変位を可能としている。ま れている。インクタンク400にはさらに上述した複数 個の突起405が設けられると共に、側面前方の中ほど にガイド用の突起40.4が設けられている。さらに、ラ ッチレバー402が設けられた側の端部には上述した把 持部412を一部に有する側壁部406が形成されてい

【0045】図3に示されるように、ラッチレバー40 2は、インクタンク側壁の底面部近傍から外方に向かっ て延在し、同図に示すように通常はその支点部分の弾性 により図中実線で示す位置にある。一方、インクタンク 30 400がホルダー300に装着される際には、ホルダー 300のフランジ302と係合して変位することがで き、さらに、装着時にはそのラッチ爪403がホルダー の係合穴と係合してインクタンクの装着を固定化する位 置をとることができる。

【0046】このラッチレバー402は、例えばインク タンクが落下した場合等、外部から衝撃が加わった場合 にも上述のように変位することができるが、装着時およ び衝撃が加えられた時のいずれの場合も、ラッチレバー 402は、最大、図3の破線で示す位置まで変位可能で 40 あることから、装着時に係合する部材から作用する力や 衝撃力は最終的に側壁部406に作用することになる。 【0047】すなわち、図3の破線に示す場合、ラッチ レバー402の全体は側壁部分406の内方に位置し、 その側壁の内側に収められる。換雪すれば、側壁部分4 06はラッチレバー402の厚みより高く外方に延在し ている。

【0048】これにより、インクタンク400のホルダ -300における装着時等には、主にインクタンクの側 壁部406がホルダー300のフランジ302と係合す 50 図である。

ることにより、側壁部406の外径が曲線部を有してい ることを相俟ってスムースな装着等の動作が可能とな る。また、ラッチレバーに衝撃が加わった場合にも、そ の力は側壁部406が受けることになり、ラッチレバー 自体に衝撃力が加わることを防止できる。特に、ラッチ レバーの支点部近傍は弾性変形による変形量が少ないた めに、タンクとの着脱などラッチレバーの状態に関わら ず側壁部分406により完全にカバーすることにより、 ラッチレバー402の支点部には、直接外部からの衝撃

【0049】なお、この側壁部分406はインクタンク 下部からインクタンク途中部まで介在しており、ラッチ レバーの先端側の角部を除いて設けられた構成となって いる。側壁部分がインクタンク最上部まで伸びている と、落下などの衝撃が加わった場合に、側壁部分の一部 が欠けるか、もしくは側壁部分全体が欠けてしまう恐れ がある。このため側壁部分はインクタンクの壁の途中部 までとし、衝撃が直接側壁部分に加わらないような構成 としている。一方、本実施形態の場合、ラッチレバーの た、レバー402の中央部ではラッチ爪403が設けら 20 支点部は後述するホルダとの係合関係のためにインクタ ンクの底面部近傍に存在しているので、この部分に関し ては、側壁部分は底面に向かって徐々にその高さを少な くし、かつ微小曲面形状とすることで、外部からの衝撃 からの破損を防止するだけでなく、上述したように、ホ ルダーへの接着の際にスムーズな装着を行うことができ る。さらに、本実施形態では、側壁部分406の強度補 強のための補強リブ407を設けていることで、側壁の 信頼性をより高めている。

> 【0050】以上のような構成にすることにより、イン クタンク400の着脱の際に重要な機構である、弾性ラ ッチレバーを確実に保護することが可能となり、確実な インクタンクの着脱が可能となる。

【0051】なお、本実施例ではラッチレバーの保護 を、インクタンクの両側壁を延長した形で行ったが、保 護部材としてはこれに限ることなく、ラッチレバーの支 点から先端部に沿って両側に前記ラッチレバーを保護す る突起であってもよい。

【0052】以上説明したインクタンク400をホルダ -300に装着するには、先ず、インクタンク400の 「「「大の突起405をホルダー300の抜け止め孔320 に位置合せして嵌め込み、次に、インクタンク400の 反対側のラッチレバー402のラッチ爪403をホルダ -300の係合孔321に係合させる。これによって、 インクタンク400の両端面がホルダー300に係合さ れて保持され、インクタンク400が正確に位置決めさ れインクタンク400とホルダー300が確実に接続さ れて一体化される。

【0053】図4はインクタンク400をホルダー30 0に装着する際のインクタンク400の動きを説明する

【0054】同図中に示す位置Aはインクタンク400 をホルダー300に入れた最初の段階であり、位置Bは ホルダー300のガイド部材310により動きが規制さ れて最終位置Cへ向かう段階を示している。

【0055】先ず、図示される様に、位置Aにおいて、 インクタンク400が先端部からホルダー300内に挿 入されると、インクタンク400の先端部においてその 底面から所定の高さに設けられた突起404がホルダー 300のガイド部310の傾斜ガイドレール部310a と係合する。そして、インクタンクの挿入動作に従い、 突起404は傾斜ガイドレール部310aから水平ガイ ドレール部310bに沿って移動する。この場合、イン クタンク400は前方部分が、突起404がガイド部材 310上に支持されるので、インクタンク400の把持 部412を操作者が持って押すだけで良く、スムースな 装着動作が可能となる。また、上述したように突起40 4はそのインクタンクの底面からの高さが適切に定めら れているので、インクタンクの突起404より下部の部 分がホルダー300の底部に設けられたインク供給管3 ば、着脱時におけるホルダー要素との干渉を考慮してイ ンクタンク形状をその干渉を避けるような形状とする必 要はなく、これにより最大限のインク容量を確保しなが ら、着脱動作をスムースに行うことが可能となる。

【0056】インクタンク400は最終的に位置日を経 て位置Cへと向かう。この際に、図4からも明らかな様 に、インクタンク400の前端下部の突起405は、ホ ルダー300の抜け止め孔320に差し込まれて係合さ れる。次いで、インクタンク400の後部を図中矢印D 方向に押すことにより、ラッチレバー402がフランジ 30 る。 部302の縁辺のガイド部材312を越えて押し込ま れ、そのラッチ爪403が係合孔321の縁部に係止さ れる。とれにより、インクタンク400のインク供給口 401はホルダー300の供給管330に確実に当接さ れる。なお、ホルダー300に対してインクタンク40 0を回動して装着する際、ラッチレバー402は、上述 したように左右両側の側壁部406内部に変位するため ラッチレバー自体がホルダーのフランジ等と干渉すると とがなく、円滑な着脱動作が可能となる。

【0057】以上のように、図4に示す装着位置Cにお 40 いて、ホルダー300の供給管330とインクタンク4 00における供給口401に設けられたインク吸収体が 接触して確実なインクの供給が行われる。また、との 際、供給管330の回りに設けられた弾性部材304は 上下方向に変形して、インクタンク400のインク供給 □401の周囲とホルダー300の供給管330の周囲 を良好にシールして万一インク漏れがあった場合でもと れを良好に防止することができる。

【0058】一方、インクタンク400をホルダー30

矢印E方向に押すことによってラッチ爪403がホルダ -300の係合孔321の縁部から開放されて係合が解 かれ、その後、インクタンク400の後部を持って引き 出すことにより、インクタンク400の突起405が抜 け止め孔320から引き出されると共に突起404が窪 み部310cから引出されてガイド310に沿って装着 時とは逆の順序で脱着が行われる。

【0059】なお、インクタンク400のホルダー30 0への装着および脱着はその動作のほとんどがインクタ 10 ンクを斜めにした状態で行われるので、インクタンク4 00の上部スペースが最小で済み、インクジェット記録 装置本体の上下方向の寸法を小さくすることもできる。 【0060】また、上述したインクタンク400の装着 時にタンク400が受けるホルダー300からの反力 は、弾性部材304の変形による反力F1、供給管33 0がインクタンク400内のインク保持体を押すことに よる反力 F2、およびラッチレバー402の変形による 反力 F 3 を合計したものである。特に、濃淡 インク等多 色インクが入ったインクタンクの場合には、そのインク 30等と干渉せずに着脱を行うことができる。換言すれ 20 の種類の数 (ジョイント数) にほぼ比例するために、本 実施形態のような6種類のインクを用いる場合は1種類 のインクを用いる場合に比べてほぼ6倍の反力を受ける ことになる。このため、本実施形態では、シール部材と して特に反力の大きくなる傾向にある弾性部材を用いる 場合、通常の〇リングのような従来の単純圧縮変形によ るシールではなく弾性部材304のような煙突状または ラッパ形状を有する、たわみ変形および圧縮変形による シール材または弾性部材とすることができ、これによっ て弾性部材304の反力を小さなものとすることができ

> 【0061】さらに本実施形態では、図1からも明らか なようにインクタンク400における供給口の配置を、 そのタンクの着脱時の方向を軸として略左右対称に配置 したので、装着時における上述の反力を略左右対称とす ることができ、これにより、装着時の安定した動作が可 能となるとともに装着時においても均一な供給管と供給 口部との圧接が可能となる。

【0062】さらに加えて、ジョイント位置、すなわち インク供給管330における接合位置を、支点となる抜 け止め孔302とインクタンク400の後端部(操作者 が押す位置)との距離の1/2以下、すなわち半分以下 の位置とすることによって操作者がインクタンク装着時 に押す力を小さくすることができる。

【0063】図5(A)および(B)は、本実施形態の インクタンクにおいてインクを保持するインク吸収体の 圧縮について説明する図であり、同図(A)は同図

(B)におけるA-A断面およびB-B断面を示す断面 図である。なお、本図は、Y.M.Cの1色のイングに ついてのみそのタンクの構造を示すものであり、また、

①から取外すには、ラッチレバー402を図4において 50 淡インク部のインク供給口401の図示は省略されてい

る。

【0064】前述したように、濃淡各インクの収納室に は、インク吸収体416が収納されておりとれらがそれ ぞれ濃インクおよび淡インクを保持している。これらの インク吸収体416は、図5(A)のB-B断面図に示 すように、その最下部αにおいてこの吸収体を横断する 方向に圧縮される。とれは、各色インクの収納部間に前 述の溝410が設けられていることによるものであり、 これによってインク吸収体下部において不要なインクの いて供給口側を長期にわたり上方にして保管したとして も、供給口近傍のインクを保持し、安定したインク供給 を実現することができる。

15

【0065】また、インク供給口401には、前述のよ うに、インク吸収体418とは別個の繊維状の吸収体4 15が設けられる。このため、その上部のインク吸収体 416は、図5(A)のA-A断面図および同図(B) のクロスハッチ部に示すように、インク供給方向に圧縮 される。これにより、この部分の毛管力を他の部分に対 ンク供給口上部へ周囲のインクを集め易くなり良好なイ ンク供給が可能となる。

【0066】なお、各インク室には大気連通孔418が 設けられている。

【0067】また、本実施形態の各部材に用いられる材 料として、ホルダー300は、重量の大きなインクタン ク400が装着された状態で落下した場合に耐え得るた めに衝撃強度の高い材料で作ることが好ましく、また、 流路形成部材350は透明で、かつ、ホルダー300に ットヘッドを形成する上で好ましい。以上から、実施形 態でホルダー300に変性ポリフェニレンオキシド(P PO)を用い、流路形成部材350に透明ポリスチレン を用いることができる。

【0068】図6は、上述したインクタンク400に対 し、その流通過程等で用いられるキャップ (以下、物流 キャップともいう)を取付けた状態を示す断面図であ る。また、図7は、上記物流キャップの概略斜視図であ る。図6において、1は物流キャップであり、400は 上述したインクタンクである。

【0069】物流キャップ1は、本実施形態では、ポリ プロピレン等の樹脂を成形したモールド成形よりなるも のであるが、これのみに限定されることなく、他の材質 を使用してもよい。キャップ1には、成形時に同時に形 成される複数の各突起9が設けられている。3は、キャ ップがインクタンク4002のインク供給口401をシ ールするための弾性体シール部材であり、キャップ1と エラストマーとを2色成形することにより形成され、キ ャップ本体に固定されている。この弾性体3の材質もエ ラストマーのみに限定されず、ゴムを用いることがで き、またキャップ1本体への固定方法についても嵌め込 み式等とすることもできる。

【0070】インクタンク400は、前述したように、 Y, M, Cの各インクに対応したインク収納室を有し、 それぞれに対応するインクを保持したインク吸収体を収 納している。

【0071】インクタンク400を流通過程等において 扱う場合、落下時等におけるインク供給口401からの インク漏れやインク蒸発を防止するためのシール機能を 参み出しを防止することができるとともに、物流時にお 10 持った物流キャップ1を衝撃やねじれ等により容易に外 れることのないよう取付ける。

> 【0072】この物流キャップ1は、取手8のキャップ ロック部7をインクタンク400の両側面の各凹部42 2に嵌合させることにより固定される。この時、キャッ ブ1の弾性体3がインクタンクのインク供給口401の 周囲をシールすることにより、インクの漏れ、蒸発等を 防止するととができる。

【0073】なお、物流時等の落下、振動等の衝撃のた め、インクタンク400内のインクが漏れて弾性体3ま して相対的に大きくすることができ、その結果、このイ 20 で流れ出ることがあり得る。この場合、漏れようとする インクのある程度は、インクタンク内のインク吸収体4 16によって引き戻されるが、漏れ出たインクの一部は 弾性体3の上に多少残ることがある。弾性体3上に残る インク量は、弾性体3とインクタンクとの隙間を小さく することにより少なくすることは可能であるが、皆無に はならない。との弾性体3上に付着したインクは、例え ばユーザがインクタンクから物流キャップ 1 を取外す時 に飛び散る場合があり、この場合、例えば弾性体3上に 付着したシアンインクが飛散し、イエローインクのイン 溶着できる材料であることが、生産性の良いインクジェ 30 ク供給口401に付着すると、付着したシアンインクが イエローインク室内に引き込まれ、インクの色見が変化 してしまうこともある。

> 【0074】そとで、本発明実施形態においては、それ ぞれのインクのインク供給口401をシールする弾性体 3の間に、弾性体3高さよりも高い突起9を設け、弾性 体3上に付着したインクが、異なった色のインク収容室 に飛散しないようにしている。また、図7に示すよう に、弾性体3のシール部の長さりよりも、突起9の長さ aの方が長くする。本実施形態においては、b寸法約1 - 5mmに対し、a寸法は約18mmとしている。さら に、図8に示したように、突起9とインクタンク400 に設けた溝410とにより、迷路状の隙間が形成され、 万が一物流中インク供給口401と弾性体3との間から インクが漏れ出した場合においても、漏れ出したインク は容易に異なる色インクの供給口401付近に到達しな くなる。これにより、さらに混色を防止することを確実 なものとすることができる。本実施形態においては、突 起9の溝410への挿入量は2mm程度であるが、溝4 10の幅が2~3mm程度と比較的狭いため、有効な迷 50 路状の隙間を形成できる。

【0075】また、突起9は、キャップ1の平面内のね じれ変形に対して抵抗となりキャップを外れ難くすると とができる。さらに、本実施形態のようにインクタンク が複数の色のインクを収納するものである場合には、キ ャップ1の幅が広くなるため、キャップ1をインクタン クから取外した後にインクの付着した弾性体3が触れ易 くなるが、突起9が設けられていることによりユーザが 誤って手等を汚すことを防止することもできる。

【0076】なお、上述したような複数色を収納するイ だけ減らし、インク収納量を多くしたい場合には、キャ ップ1に設けられた突起9が、入り混む溝410の幅は 可能な限り小さくすることが望ましい。しかしながら、 一方において弾性体3上に付着したインクの飛散を防ぐ ためには、突起9の高さが高い方が良い。しかしなが ら、本実施形態において、このような構成、すなわち突 起9の高さが高く、隙間10の幅が狭い構成を実施する と、突起9が溝410に挟まれてキャップ1の取外し動 作が煩雑になる怖れがある。とのような問題点を解決す るためには、突起と溝の間隔を適切に設計することが望 20 ンク供給口に達することを防止できる。 ましい。

【0077】また、突起9を弾性体3と同じ材質で形成 し、キャップ1の取外し時において、突起9がインクタ ンクの溝に挟まれても、突起9自体が弾性体であること から取外しを容易にすることもできる。この場合、突起 9と弾性体3とを連続した部材とし、ゲートを1つにす ることにより、成形装置を簡単化することも可能とな

【0078】図8および図9は本発明の他の実施形態に 係るインクタンクおよびホルダーを示す図であり、図1 30 および図2と同様の図である。

【0079】本実施形態のインクタンクおよびホルダー は、例えばY、M、Cの3種類のインクに対応したもの であり、この場合にも本発明を適用することができる。 【0080】図10は本発明の一実施形態に係るインク ジェット記録装置を示す概略斜視図である。

【0081】本実施形態のインクジェット記録装置は、 上述したY、M、Cについてインクタンクおよびホルダ ーと、ブラックインク (K) についてのインクタンクお よびホルダーを用いるものであり、それぞれのホルダー 40 300はキャリッジ501において不図示の機構により 着脱自在に装着される。キャリッジ501はガイドレー ル504と摺動可能に係合し、また、不図示のモータに より回転駆動される1対のブーリー503に張られたべ ルト502の一部と接続している。これにより、キャリ ッジ501はガイドレール504に沿った移動が可能と なる。また、キャリッジ501の下方では被記録媒体と しての記録紙506が不図示の紙送り機構により所定量 づつ搬送され、との記録紙の搬送毎にキャリッジの移動 によるインクジェットヘッドの走査が行われることによ 50 7 キャップロック部

り、記録紙上に画像等の記録がなされて行く。

【0082】なお、キャリッジ501の移動範囲の一端 には、吐出回復ユニット600が設けられ、例えばその キャップ601により各インクジェットヘッドの吐出口 が配設された面をカバーすることができる。

【0083】上述の各実施例では、インク容器に収容さ れるインクは、具体的にイエロー、マゼンタ、シアン等 で説明を行ったが、これらに限定されるものではないと とは言うまでもなく、さらに、収容される液体の種類と ンクタンクの大きさが比較的小さく無駄な空間をできる 10 して、インク染料分子を凝集させるような液体が含まれ ていてもよい。

[0084]

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明 によれば、インクタンクの複数のインク供給口が配設さ れた面において、そのインクタンクの着脱動作の方向に 平行な方向に沿って溝が形成されるので、この溝によっ て隔てられるインク供給口が異なる色のインクを供給す るものであるときはこの溝により、仮に一方の供給口か らインクが漏れた場合でもそのインクが流れて他方のイ

【0085】との結果、インクタンクの着脱動作時等に おいて万一インク供給口からインク漏れがあった場合で もインクの混色を適切に防止でき、常に良好な品位の配 録を行うことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係るインクジェットヘッ ドが取付けられたホルダーとインクタンクを示す斜視図 である。

【図2】図1に示すホルダーを一部破断して示す斜視図 である。

【図3】インクタンクの側壁部の作用を説明する図であ る.

【図4】インクタンクの装着動作を段階的に示す図であ

【図5】(A)および(B)はインクタンクに収納され るインク吸収体の圧縮を説明するための断面図である。

【図6】インクタンクの流通過程等で用いられる物流キ ャップをインクタンクに装着した状態を示す断面図であ 3.

【図7】上記物流キャップにおける各要素のサイズの関 係を示す斜視図である。

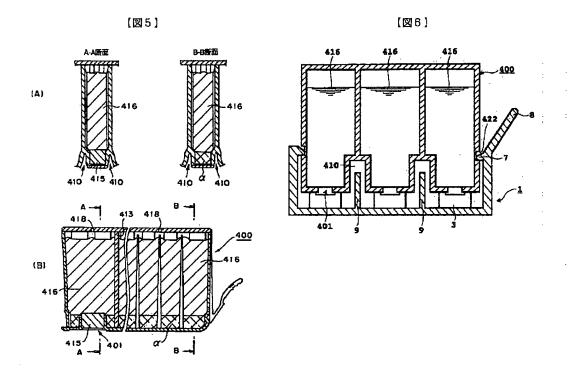
【図8】本発明の他の実施形態に係るインクタンクおよ びホルダーを示す図である。

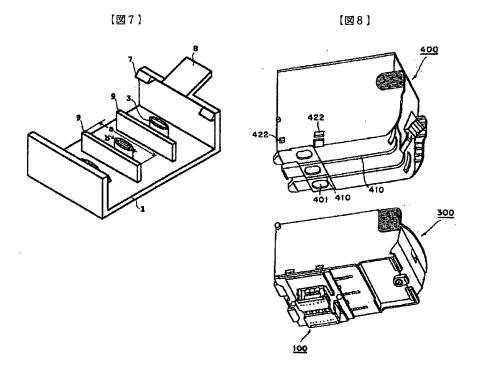
【図9】図8に示すホルダーを一部破断して示す斜視図

【図10】本発明の一実施形態に係るインクジェット記 録装置の概略構成を示す斜視図である。

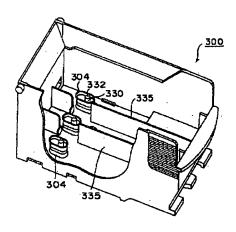
【符号の説明】

1 物流キャップ

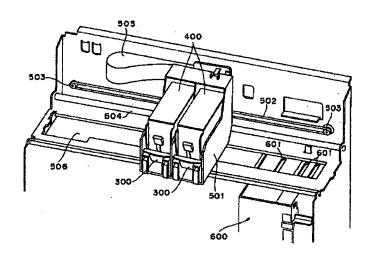




【図9】



【図10】



フロントページの続き

(31)優先権主張番号 特顯平9-30377 (32)優先日 平9 (1997) 2 月14日

(33)優先権主張国 日本(JP)

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.